

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	「遊楽館」平岡 2階	評価実施年月日	平成20年6月2日
評価実施構成員氏名	清水三千代 市野真美子 金澤佑亮 小林敏貴 大滝淳子 荒瀬美樹子 小松愛佳 十河るみ		
記録者氏名	市野 真美子	記録年月日	平成20年6月18日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	運営方針(理念)の中で地域との絆を大切にすると共に、その人らしさを尊重するよう唱えられている。	実践につなげるよう継続して努める
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	朝、夕の申し送りで理念を唱和。会議等で抜粋し投げかけ、省みて日々実践に取り組んでいる。	継続する
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	家族には入居前、入居後常に理解されるよう取り組んでいる。運営推進会議の他、地域の婦人部等の活動の中で話をさせていただき理解を求め取り組んでいる。	ホームの紹介等行える機会を増やし、地域への取り組みを検討していく
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	ゴミだし、散歩時など挨拶したり、気軽に声をかけられるが、立ち寄ってもらえるような日常的付き合いはない。	○ 気軽に立ち寄れるような雰囲気を作り、声をかけていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会に参加し、回覧板等で地域の様子を知り、町内の清掃に参加、資源回収に協力している。	参加する場を増やせるよう、地域に投げかけていく。
6	○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	事業者として建物の構造が鉄筋のため、自然災害時等の避難場所として可能と思われる。また、迷われた高齢者の一時預かり等に対応、強化したことあり。	更に何ができるか検討したい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価を作成する時点で項目毎に省みて、改めて取り組むようにしている。前年の評価を活かして、分野毎改善に取り組んでいる。</p>	<p>取り組みを省みる機会として、より良いものを目指すよう活用していく</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>会議では評価に目を通していただいている。開催の都度報告し、意見、感想を述べていただいている。</p>	<p>会議参加者だけではなく、他の方の意見、感想を聞ける場を設けたい</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>頻繁ではないが、地域包括支援センターの担当者に相談させていただいている。</p>	<p>相談する場、機会を増やしていきたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度については、管理者が主として入居者の制度利用に協力、支援している。</p>	<p>○ 地域権利擁護事業に関しては、学ぶ機会を持ちたい</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部研修で学ぶ機会はある。虐待はあり得ない事と防止の徹底には努めている。</p>	<p>防止の徹底に継続して努める</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には十分な時間をとり、全文読み合わせをして、更に補足説明をし、質問に答え理解を得ての締結に努めている。解約時も同様。</p>	<p>丁寧な説明など時間を十分とることを継続して、理解を得よう努める</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>重要事項説明書に内部、外部の苦情窓口を明記している。職員が受けたものは管理者が利用者の意向を確認して、再度職員に伝え今後の取り組みに活かしている。</p>	○	<p>更に時間を重ねて都度思いを汲み取るよう努める</p>
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>特変事項に関しては都度速やかに報告、状況説明をしている。金銭については出納帳を定期的に確認していただいている。その他、来訪時には個々にあわせた報告をしている。</p>		<p>家族とのこまめな連携を継続し、更に信頼、理解を得られるよう努める</p>
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>重要事項説明書に内部、外部の苦情窓口を明記している。職員が受けたものは管理者が家族等の意向を確認して、再度職員に伝え今後の取り組みに活かしている。</p>		<p>率直に意見を言っていただけるように、相談等をまめにしていきたい</p>
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>特に運営をテーマとする会議を設けていない。</p>	○	<p>より良いホーム作りという視点で話し合うことは継続していく</p>
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>緊急時も含め、職員同士の協力あり調整している</p>		<p>状況に応じた調整を継続していく</p>
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>異動、離職を必要最小限に抑える努力をしている。管理者は異動に関してはその旨運営側に伝え、理解を求めている。利用者、家族には十分配慮している。</p>		<p>異動、離職は最小限に取り組むことを継続</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	内部、外部研修の機会は設けている。	継続して研修の機会は設け、より多くの職員が受けられるよう計画したい
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	清田区内のグループホーム職員で行う、勉強会に参加している。	区内の管理者連絡会で交流機会を計画しているので参加していきたい
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	年間108日の休日を就業規則で定め、月9日の公休により心身の休養を考慮している。職員の親睦会には運営者は協力している。喫煙者には場所を定めて提供している。ニセコの保養所利用も増えている。	職員が利用できる保養所(ニセコ)など福利厚生の充実
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	個々に必要な心がけを投げかけ、状況を把握し、意欲向上するように努めている。個々に話を聞く場を設けている	理念でも唱えられているので、継続して取り組む
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	普段から会話する事で本人の悩み、思いを傾聴していく努力をしている	更に時間を重ねて都度思いを汲み取るよう努める
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	来訪時に家族が気になっている事や不安がないか、また本氏の近況を伝えていく努力をしている	継続する

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	家族と連絡を密にとり家族や本氏の思いを汲み取る努力をし、支援する内容を見極めている		他のサービスが必要となる場合、本人、家族に確認、対応に努める
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご家族より情報を聞く際相談し、本氏が安心して暮らせるように職員で話し合っている。入居時にケアプラン作成、説明し、同意を得るようにしている。		継続して入居時よりプラン作成し、本人、家族が安心できるよう努める
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	洗濯物をたたむ、食器を洗う、掃除、片付けを共にする中で会話を楽しみ、思いを知る事でどう支えたらよいかを考えている		共に暮らすという思いを継続していく
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	来訪時に日々の状況を伝えたりご家族を含めての会話をすることで同じ時間を共有している		継続していく
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	会話や状況の中からそれぞれの思いを聞き取り円滑な関係が保てるように支援している		伝え方に配慮して継続していく
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの人来やすい雰囲気づくりをしている。ご家族が泊まりに来たり、老人会に出席されたりしている		継続していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	偏りができないように職員が間に入り会話を取り持つなど関わりを持てるよう努めている。入居者同士ができる人ができない部分を手伝う等、馴染みの関係の継続に協力している		全員で協力して何かを作る
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退去後の様子等を家族から伝えきいたり、問い合わせしている。		必要に応じて継続して対応していく
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活歴や家族からの情報をふまえ、日々の生活の中で一人一人の思いを把握し実行のため工夫している		カンファレンス等で把握、検討していくことを継続する
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時前の状況やご家族からの生活歴の情報を頂き常に把握できる状況に努めている。センター方式のシートを活用して把握に努めている。		継続していく
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	状況を記録し、申し送り等により把握に努め、会議で確認している。		継続していく
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	毎月のユニット会議の中で、ここのカンファレンスを行い、取り組む中で本人の現状やご家族からのお話など確認し、よりよいケアにあたるため意見を出し合い介護計画を作成している		継続していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		状況に応じた見直しを継続していく
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		シートの活用など変化、気づきを都度記録し活用して継続する
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		家族の要望には速やかに検討していく
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>		ボランティアの幅広い利用をしていきたい
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>		本人、家族の希望に応じ継続して支援していく
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>		権利擁護に関して学んでいきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人、家族の希望に応じ受診病院を検討、受診している。事業所の提携医は夜間、休日都度相談対応可能であり、他病院への紹介等含め、個々に適切な受診支援をしている。		提携医からの紹介等を利用し適切な受診を意識していくことを継続
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	地域において専門医と称する医師がいない	○	認知症に関して相談できる担当医を確保したい
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	事業所として看護師を確保している。相談して支援している。		同じ職員同士として身近に相談できる体制を継続、支援していく
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院した際は、お見舞いに行き、病院関係者の方より状況を聞いている。ご家族とも密に連絡をとり、相談している		情報交換により退院後の生活を適切に支援していきたい
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	家族等に医療機関等含め綿密な確認が必要の旨、説明している。医療側の治療方針を確認し、何よりもご家族の意向を大切に定期的に都度相談しながら対応するよう全員が取り組んでいる。	○	本人、家族の希望を確認して、チームとして方針を共有し、対応していくことを継続。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	かかりつけ医、看護師の確保をし、チームとしての支援に取り組んでいる。家族を通じて医師の指示を確認しながら日々の変化に対応し、家族の希望を取り入れながら現状で可能な支援を検討している。	○	「できること、できないこと」を見極め、慎重に検討していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	必要な情報提供を速やかに行っている		必要な情報交換、家族との相談を継続していく
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	個々の対応、言葉掛けには、十分な配慮を行えるよう職員一人ひとり自覚を持っていると思う。記録等の個人情報の取り扱いには、十分気を付けている。個人ファイルは施錠して保管している。		継続していく
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	常に数通りの答えを用意し、自身で決めて頂いている。普段の会話の中で思いをくみとっている		言葉にされない表現、思いを汲み取り、継続する
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者一人ひとりのペースを大切にしているが、時としてこちらの都合になる場面もある		入居者主体である生活を更に意識し、理念に沿った支援を継続する
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	本人やご家族の希望を聞き、訪問理・美容などを利用している。家族が馴染みのところに依頼されてもいる		希望に応じていけるよう継続していきたい
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立表の作成時に利用者に問い掛けたり、日頃の会話等から好みの物を聞く等し、声掛けし一緒に準備等行っている。準備片づけにおいては、お手伝い頂いている		入居者が関わっていくよう継続して声かけなどしていく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	おやつ等の時間等、選んで頂く等そのときの状況に合わせて支援している		個々に合わせた支援を継続していく
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の状況に合わせて対応を行っている。記録等により状況を把握している。		変化に応じた対応を心がけ、適切な配慮を継続していく
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	状況を見ながらタイミングや希望を取り入れている。曜日、時間での取り決めはない		押し付けにならないよう、声かけに配慮するよう継続していく
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人ひとりのペースに合わせて支援している。日中の過ごし方にも配慮して夜間につながるよう支援している		個々の生活のリズムに合わせて継続して支援していく
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	洗濯物たたみや茶碗洗い等を積極的にして下さったりしている。ご自分たちの役割と日常化している。		継続して喜んでされることを投げかけ、張りをもたれるよう継続して支援する
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族の協力の下で本氏が自分持ちのお金を持っている方もいる一緒に買い物に行き支払いをお願いしたりしている		一人一人に応じた支援を継続していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天気・体調に合わせて買い物や散歩等を行っている		できるだけ希望に沿うように、また機会を増やし支援していきたい
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	本人の行ってみたい所などへ行く機会を多く設けていかなければいけないと思う遠出は出来ないが近場では努力している	○	個々の状況に合わせ、機械を設けていきたい
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	居室に電話を引き、自ら連絡を取るなどされている手紙のやりとりも行っている		継続する
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族・知人等の訪問を自由にしており、宿泊もされている。一緒にホームの食事を摂られたりされている。入居者の方が他入居者のご家族と馴染みの関係になられている状況もみられる。		今後も来訪しやすい雰囲気大切に継続していく
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束ゼロを基に身体拘束を行わないことは全職員が認識して取り組んでいる必要に応じて職員間で話し合い、意識の確認をしている		徹底して継続する
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	取り組んでいる ユニット内は常に鍵をかけず、玄関は夜間のみ鍵をかける		夜間の侵入者を防ぐ目的以外の施錠はせず継続

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	見守りを行い、個々の所在は常に把握している 夜間もその方に合わせ定期的に様子確認する		拘束感を与えず、見守りを継続していく
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人ひとりの能力に応じ、その方の認識の仕方を見極め、必要かどうか判断している		個々の状況の変化に気をつけて、危険物の保管を検討していく
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	行方不明(写真付き)、火災時のマニュアルがあり、職員がいつでも見る事が出来るようになっている、皆も知識を身につける努力をしている。		マニュアルを把握して、研修など受け、その場の実践につなげるよう努力する
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	消防の研修を受けている(普通救命講習) AEDを設置し、講習を受けている。		いざという時に実践できるよう心がけていきたい
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防訓練を行い避難方法を理解するようになっている。地域への働きかけは運営推進会議で投げかけてはいるが不十分	○	地域への働きかけをしていきたい
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	各々の起こり得るリスクと考えられる事は家族にも相談し、その方に負担のかからないような対応を検討している		状況をこまめに伝えていき、更に理解していただけるよう継続していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>体調の変化を知るために1日2回バイタル測定を行い異常があれば情報を共有するように心がけている</p> <p>状況の変化に応じ、連絡確認を素早く行う事で早めの対応を行っている</p>	<p>状況変化を敏感に悟り、情報を記録、申し送りで共有することを継続する</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方箋は身近に確認できるよう保管し、利用している。定期薬、臨時薬等把握している。必ず見守りや、投薬介助を行っている。</p>	<p>変化等の情報は確実に共有していく</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>便秘時には水分、乳製品の提供、処方された下剤服用(定期を含め)を促して支援している</p>	<p>身体を動かすことの困難な方の支援を医師と相談し、工夫していく</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>口腔ケアが出来る方には行っている。ご自分で出来ない方には、食事の最後に水分を多めに摂って頂くようにしている。就寝時に義歯を洗浄している</p>	<p>歯科医の指導の下継続していく</p>
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>バランスのとれた食事提供をしている。摂取困難の場合はエンシュア等に対応している。</p> <p>水分も積極的に摂って頂けるように支援している。個々に合わせた支援をしている</p> <p>多種の飲み物を常備して選んでいただくようにしている</p>	<p>○ 個々に合わせた支援を継続していく</p>
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルがあり、感染を起こさないように努力している</p> <p>入居者の外出から戻られた時、パートナーは出勤時、ご家族は訪問時にうがい・手洗いを行って頂く</p> <p>トイレ使用后、塩素系の物で消毒を行う</p>	<p>習慣化しつつあるので継続していく</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	夕食後 まな板、三角コーナー、布巾、ポット等の漂白(消毒)を行う 冷蔵庫の整理を行い、賞味期限のチェックを行う テーブル、トレーなど常に清潔を保つよう意識している		衛生管理を徹底して継続する
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	手すり、ロードヒーティングを設備して、玄関先には、花等を植え、ベンチを置くなどして明るい雰囲気作りをしている		入居者と花を植えたりして雰囲気作りを継続していく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有空間は明るく、開放的な雰囲気になっている。その季節の花や季節、行事に合わせた飾り付けを行っている		照明などに配慮し、清潔に心地よい場所の提供を継続する
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	窓際、廊下等にイス・テーブルをもうけ、好きな場所で過ごして頂けるように取り組んでいる リビング内はもちろん、リビング外においてもその時々で過ごせる空間を設けている		居心地のよい場所作りを継続していく
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	転倒防止を考慮した上で、出来る限り本人の使い慣れた物、好みの物を居室に置いて頂いている		家族の協力を得ながら継続していく
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	常に換気を行っている。空気清浄機も使用している また、利用者の方に合わせ温度調節を行っている		におい、温度には十分配慮していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりをつけたバリアフリーにし、歩行も安全に出来るようになっている</p> <p>本氏の気持ちを大切に、出来るだけ自立した生活が出来るようにしている</p>	<p>負担のかからない自立支援に努め継続していく</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりの力を見極めながら必要な部分は援助している</p> <p>また、トイレ・浴室はわかりやすいように札やのれんをつけている</p> <p>居室ごとにネームプレートをつけ、誰の部屋かわかるようにしている</p>	<p>継続していく</p>
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>花壇や畑で野菜作りをしている</p> <p>玄関先にはベンチを置き、またベランダにはイスとテーブルを置く事でお茶などを飲んだりもしている</p> <p>焼き肉を行うなど外回りの有効活用をしている</p>	<p>継続していく</p>

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんど掴んでいない</li> </ul>
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 毎日ある</li> <li>② 数日に1回程度ある</li> <li>③ たまにある</li> <li>④ ほとんどない</li> </ul>
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての家族</li> <li>② 家族の2/3くらい</li> <li>③ 家族の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどできていない</li> </ul>

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働けている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)  
 ゆったりとした、穏やかな生活を基本に、一人一人が安心できるよう寄り添うケアを心がけている。個々の気づきが適切な支援につながるよう専門性を活かした連携を意識し、「今日1日を大切に」取り組んでいる。家族との連携を大切にしている